



年頭のご挨拶



明けましておめでとう御座います。いよいよ21世紀の幕開けです。21世紀がどんな100年になるのか、いろいろな予測がありますが、とにかく明るい希望をもって生きて行きたいものです。

東村山稲門会も新たな希望をもって一層の発展を心がけて行きたいと思っています。会員の皆様どうぞ健康で（これは私自身の反省でもあります）幸せて活気ある一年をお過ごし下さい

大西 幸夫

会からのお知らせ

○定例役員会

日時：2月3日（土）14：00～14：30 発送準備（有志による）

（188） 14：30～16：30 役員会

場所：東村山ふるさと歴史館 研修室

なお、一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加下さい。

<事務局から>

○日野稲門会会長交代（12月3日）

新会長に 森田治夫（S23専攻）氏が就任



早稲田大学125周年事業募金について

毎月お知らせ致して居りますが、早稲田大学では建学の理念「学問独立」「学問の活用」「模範国民の造就」を実現するため創立125周年の記念事業として、インテリジェント教育研究棟2棟の建設、新学生会館の建設、大隈講堂の多機能型文化ホールへの再生を実施するための資金調達の募金活動を展開しています。

会としても会員の皆様に来期から7年間会費3,500円に1,500円を上乗せしこの分寄付することをお願いして居ります、来期の会費徴収は11月です、よろしくお願い申し上げます。

杉原千畝顕彰記念講演会について

副会長 三宅 良太

早稲田大学人権教育委員会の主催で、昨年12月14日午後大隈講堂において約1,000人の聴衆の出席のもと開催されました。

当日の進行を以下に抄録致します。

1. 開会挨拶 早稲田大学副総長 佐藤英善氏
講演会催行の経緯、故杉原氏の功績について
 2. 来賓挨拶
 - ①サイモン・ウィゼンタール・センター副館長 アブラハム・クーパー氏
故杉原氏の功績、講演会の意義について
 - ②杉原ビザ受給者 サミュエル・マンスキー氏
故杉原氏により発給されたビザによりリトアニアからソ連・日本經由アメリカへ逃れ、その後結婚し現在優秀な3人の子息と6人の孫に囲まれ、恵まれた生活をしている。杉原夫妻に対し心からの感謝とその人道上の功績をたたえられた。
 3. ビデオ上映 「命のかけ橋・千畝とビザ」
 4. 顕彰記念講演
 - ①渡辺勝正氏（昭36商卒・杉原千畝研究会代表 著書「杉原千畝と都の西北」）
故杉原氏のビザ発給の決断は母校早稲田大学の建学の精神の影響が大いにあったと考えられる等
 - ②故杉原千畝元リトアニア領事代理の夫人 杉原幸子氏（86才）
「命のビザ」
ご主人千畝氏が、ビザ発給の決断をされるまでの苦悩と一人で一ヶ月間約2,000通のビザを発給された状況や杉原夫人が銃弾とびかう中を逃げまどわれ奇しくもドイツ兵に助けられたこと等の体験談。そして今後人類は悲慘な戦争を何とか話し合いで避ける努力をする必要が有ることを強調されました。
- <私は政府に背くことになるかもしれないが、私は私の神にそむくことはできない。>
—杉原 千畝—

5. 校歌斉唱

6. 閉会

2000年秋季商議員会報告

小亀 輝雄

2000年秋季商議員会が2000年11月25日(土)に早稲田大学総合学術センター井深ホールで開催され、本会からは大西、山下、小亀の3人が出席しました。

奥島総長から早稲田大学の概況および早稲田大学の「三大教旨」の原点に立ち戻って私立大学として今後の方向性について、主として「教学の改革」という観点から具体的な話が力強く述べられました。続いて佐藤常任理事(法・教授)から「大学改革の状況報告」白井常任理事(理工・教授)から「新たな教育研究の展開」について、寛デジタル化事業推進室長から「デジタル改革」について、河合常任理事(理工・教授)から「本庄プロジェクトの進展とそのめざすもの」、安江常任理事(職員)から創立125周年記念事業募金関係報告の説明がありました。商議委員会終了後リーガロイヤルホテルで懇親会が行われました。(商議員会議事録を希望の方は小亀までご連絡下さい)

商議員会とはどんな組織？

商議員は、校規によって、商議員会を組織し、学事や会計の報告を受け、諮問事項について審議し、その議決をもって総長に建議するとともに、大学の維持・発展・財政基盤の確立に貢献する任務を担うと定められています。

商議員の定数は1000人以内で、次の区分によって選出されます。

評議員会推薦商議員	80人以内	
校友会推薦商議員	920人以内	— 各都道府県支部長・副支部長 — 都内稲門会長
		各都道府県選出
		職域・海外稲門会等
		92人
		51人
		518人以内
		259人以内

任期4年(2000年6月～2004年5月)

年会費 3万円 年2回定時商議員会が開催され、評議員選挙、総長選挙等にもかわる。

東村山稲門会からは、大西、山下、小亀が選出されています。

ご紹介

平成12年中の会員による発刊図書をご紹介します。(紹介済みのものを除く)

○佐藤 清彦さん 「ああ勲章」 10月 青弓社発行

○鍋島 高明さん 「今昔お金恋時雨」 5月 河出書房新社

同好会だより

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
田口 政澄 395-4077



今年の第四回麻雀大会は去る12月10日(日)に16名四卓で、初参加の柴田氏を迎え予定通りおこなわれ、小亀氏が二回目の優勝をされました、なを準優勝は小野、3位山下、4位土橋の各氏でした。

遂に出ました役満、一回目長井雀士以来の久々二回目は三宅雀士、役は字一色、小四喜のダブル役満、お見事!

例によって表彰式のあと懇親会、兼忘年会に移り井垣事務局長もかけつけ近況、情報交換と賑やかな楽しいひとときを過ごしました。

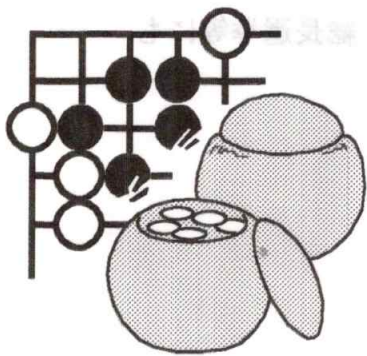
優勝者の弁、「家を出る時、四卓の今日、もし優勝できたら貴方は本当に強いのですよ、と言われたので今日は大威張りで帰れます」

とのこと、雀士一同言葉なし。午前中ここで臨時役員会を開催した関係で今回は大西会長が最初からオブザーバーで皆を応援してくれ、かつビールのお酌をも。が実は皆さん後ろから打ち方を全部覚えられたのかもしれませんが。次回の優勝候補は会長か?

なを、来年の第一回大会は3月25日(日)におこなう予定です。

囲碁・将棋の会

世話人 鈴木 国夫 TEL 394-2052
江藤 昌明 391-4076



第9回の同好会を12月9日午後1時から市民センターで開催致しました。

今回の参加者11名は囲碁の方のみでしたが、10名の方は対戦相手を変えながら、いずれも熱戦の好勝負でした。中でも久世さんの進歩は目を見張るものが有りました。また全く初心の柴田さんは個人指導を受けることが出来ました。

次回は大西さん寄贈の会長杯争奪第2回囲碁大会を下記により開催いたします。

今までの参加者は勿論、まだ参加したことのない方も奮ってお申し込み下さい。置碁によりカバーしますので、実力差は問いません。どなたも楽しめると思います。

詳細は次号ニュースでお知らせしますが、今から予定しておいて下さい。

なお、当日の将棋の部は従来の練習会となります。

記

日時：2月24日(土) 午後1時～5時

場所：東村山市民センター 第4会議室

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太

TEL 396-3100

あけましておめでとうございます。今年もゴルフ同好会に大きな声援をお寄せ下さい。

〇ミレニアム忘年ゴルフ会 12/30 (土) 報告

2000年も押し詰まっ12月30日(土)、飯能ゴルフクラブに集合したのは、大西さん、益田さん、津野さん、と井垣。3人が歴代優勝者という豪華メンバー。加えて飯能メンバーの井垣昭さん(小平稲門会)、会長杯にゲスト出場の経験もある松井明さん(小平在住校友)と畔上正敏さん(武蔵野女子大事務長)。さらにコースまで車で15分の入間市在住の水村健司さん(井垣友人)。

8人のプレーヤーが2組に分かれて、空気は冷たいが風もなく穏やかな天候の下、年末の慌ただしさを感じさせないゆったりとしたコースに出発。名物池越えの10番ホールから9:30にスタート。全員池ポチャ無しで好スタートを切ったものの、その後はみんなコスト低減に努めてかなり大叩きのゴルフを展開。

プレー終了後は、ハウスの食堂を8人で占拠状態。ビールと酒を肴に?ゴルフ談義に花を咲かせ正しく忘年会状態で20世紀最後のお客様として見送られる。

それでも名残を惜しんで、クラブのバッグ担いで3人で入間駅前で数時間飲み、その上久米川で飲んで、唄って、家へ10時過ぎに帰ったのは・・・だーれだ?

(井垣 記)

〇第9回会長杯コンペは4月中旬です。

恒例の春期コンペは4月中旬を予定しています。幹事役は前回優勝者の津野慶浩さん(S36商)と三宅良太さん(S36商)です。次号で日程ご案内しますのでお楽しみに。

〇ゴルフのエチケットって何? <その2>

ごるふはエチケットとマナーのスポーツだと言いますが、ではいったい何がエチケットなのと思われる方も多いでしょう。でも答えは簡単。ゴルフ規則にちゃんと書いてあります。

これをわきまえれば、たとえボールが後ろに飛んでもあなたは立派なゴルファー、いや立派な人格者なのです。

ゴルフ規則 第1章 エチケット**◎コース上の礼儀****他のプレーヤーに対する配慮**

相手や同伴競技者は、オーナーがあるプレーヤーに先にプレーさせるべきである。

プレーヤーが球にアドレスしたりストロークをする間、他の人は動いたり話をしたり、球やホールの近くや真後ろに立ってはならない。

プレーヤーは、前方の組が球のとどく範囲外に出るまでプレーを始めてはならない。

プレーのペース

各組とも、他の全ての人のために、プレーを遅らせないようにすべきである。

球がウオーターハザードの外で紛失したりアウトオブバウンズのおそれがあると思った場合には、プレーヤーは、時間節約のため、暫定球をプレーすべきである。

球を探している組は、球がすぐに見つかりそうにない場合、後続の組にパスするようにすぐに合図をするべきである（パスの合図は5分間探したあとにしないこと）。また、パスした後続の組が球のとどく範囲外に出るまで、プレーを再開してはならない。

1 ホールのプレーを終わり次第、その組のプレーヤーはすぐにパッティンググリーンを離れなければならない。

コース上での進行が遅れて前の組との間に完全に1ホール以上の間隔を生じた組は、後続の組をパスさせるべきである。

(以下次号)

園芸の会

世話人 三宅 良太 TEL 394-5298

平成13年第1回園芸の会を催します。

日時：平成13年3月3日（土）15時～17時

場所：東村山スポーツセンター スポーツクラブ室

今回は昨年同様、藤澤博恭様にさくら草の芽分け、さぎ草の植え付け等をご指導頂く予定です。なお増殖して増えた球根がある方はご持参下さい。多数お気軽にご参加をお待ちしております。

ご参考：藤澤様ご夫妻が家庭画報平成13年1月号（既刊334頁）の特集「究極の花の愉しみ春蘭・寒蘭」の中に『東洋蘭に魅せられて・・・ビジネスマン時代を支えた蘭への愛』のタイトルで見事な写真記事が掲載されております。



テニス同好会

世話人 当間 昭治 TEL 391-6023

21世紀幕開けのテニス例会を下記にて開催します。

「お屠蘇」と「お雑煮」で重くなった体をリフレッシュする絶好の機会。参加をお待ちしています。

記

日時：1月14日（日）午後2時～4時

場所：久米川テニスコート 5番コート

（久米川町2丁目 スポーツセンター北側）



投稿

柔軟な「組織」とわが稲門会

いま、ビジネス街では牧野 昇さんの「オープンリソース経営」という本が話題になっている。変革期を勝ち残るための新たな経営手法の提言である。昨年暮れ、この新著の出版記念パーティが都内のホテルで開かれ出席してきた。今をときめくNTTドコモの会長さんもいたせいか、会場はなかなかの盛会だった。「アウトソーシング」の概念を世に出して以来、久しぶりの労作とあって牧野さんの弁舌にも熱がこもっていた。一言で云えば、これからの企業組織は外部資源の出入り自由なものにせねば ということらしい。外から見ても組織内外にほとんど境界がなく相互浸透性があるもの、人事雇用から経営情報・技術まで相互の仕切りを柔らかく、オープンにして常に接点が変化する環境を創ることが大切と説いていた。

この話を聞いていて、私はドラッガーの「未来組織論」を思い出した。彼は、未来組織はテニスのダブルス・ペアチームのようなものだと言っていた。野球のように監督の命令のもと、守備から打撃までシッカリ役割が決められているのではなく、テニス・ペアのように、その時々状況により互いの位置を瞬間的判断で動き、意思決定を行う と云うものだ。しかし、これには構成員全員がかなりの錬成と資質という共通の基盤がないとむずかしいのでは というのが私の読後感であった。

さて、我らが愛する稲門会 将来にわたる組織のありかたは？～なんてまだ論議は早すぎますナ、まだやっと五年目ですから。

(稲穂人 教36卒)

掲示板

教えて下さい

今年1月で75才になりますが、心だけは若くありたいと考えております。去る10月22日には卒業50年後のHome Coming Dayに参加しました。世は将にIT時代、而もall over the worldです。私も早稲田のOpen Collegeや街のパソコンスクールに通って講義だけは4～5回受けましたが、使わないことは左から右に抜ける年令でもあり、聞くだけ読むだけでは駄目のようです。若い学生諸君のように友人とdiscussしながら学問知識を身につける雰囲気をつかしく思います。

パソコン技術の修得に向けて情熱的な先生が得られないかと思っております。宜しくお世話をお願いします。

但し午後PM 0時～9時(帰宅)の事務所の生活ですので土日と午前中1時間位しか余裕はありません。之も大きなネックです。

丸田 忠平

栄町1-22-6 tel 391-0357



今月の予定

14日(日) テニス同好会

編集局

編集局だより



編集局：井垣、伊藤、塩見、田口

○一つ気になって居ることが有りました。ITと言われ我々のニュースも、メールやパソコンのDTPの技術を出る限り応用した態勢で編集してきました。ところが、先月まではどうしても最後が繋がらず、編集者が印刷した原稿を郵送で会長に送り届け、印刷するという変則の形で凌いできました。こういう事は実は今日のIT革命と言われる事態の中で往々にしてある笑えない話なのですが、今回井垣事務局長のご尽力で最終原稿をメールで送り届ければその儘印刷が出来ることになりました。

○東村山の稲門会は全国でもいち早くホームページを開設出来たのですが、担当の高柳さんが、お仕事の為どうしてもその後のメンテナンスが出来なくなり、休眠状態で過ごしてきました。幸いにも高柳さんが、どうにか時間を取れる様になられるとの事で、現在このニュースの原稿をホームページにどのように生かせるか試験的な作業を行っております。新くなる東村山稲門会のホームページにご注目下さい。

○会報第5号は2月頃皆様のお手許にお届け出来る予定で山下副会長の下で準備が進んでいます。先月末、ふるさと歴史館で行われた鼎談記事の収録に立ち会い、教育関係のお話に興味を覚えました。丁度その前後に会員の多摩湖町の当麻さんにPTAのことでお電話して、またまた目を啓かれるお話をお聞きしました。会員数僅かに200余名の東村山稲門会ですが、地元根差したこのネットを有効に活用して行けたらもう一つ別な視界が開けてくるのではないかと思います。

○今回は、投稿・情報ともお寄せ頂き有り難うございました。塩見さんの連載「思い出の地」の続稿も来月に掲載を予定しています。原稿の締切は1月27日(土)とさせて頂きます。

(伊藤)

原稿募集中

詩・俳句・紀行文・随筆・小説その他何でも結構です。(但し宗教、政治団体の宣伝は駄目) 個人掲示板の設置も考えておりますので「売りたい」「買いたい」「教えて下さい」等の情報もお寄せ下さい。

投稿宛先

E-mail: tom-i@ma3.justnet.ne.jp まで添付ファイルはMS-WORD、一太郎のみ。

FAX: : 042-398-1352

郵送: 東村山市富士見町1-12-2 ヴィラージュ・ヴェール1-209 伊藤宛